

平成 17 年 12 月 27 日  
東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

## 定期検査中の 2 号機における警報発生の調査結果について

平成 17 年 11 月 29 日午後 2 時 42 分頃、定期検査中の 2 号機において、原子炉の水位の低下を示す警報が発生しました。

警報発生時、原子炉は満水状態であり水位に変動はありませんでした。また、警報を発生させる原因ともなりうる関連作業は実施していないことから、当該警報の誤動作と推定しました。（添付「原子炉水位（高圧炉心スプレイ系\*<sup>1</sup>）検出概略図」参照）

なお、本事象による外部への放射能の影響はありませんでした。

（11 月 30 日お知らせ済み）

当該警報が誤動作した原因を調査したところ、水位検出器、水位スイッチ、補助継電器\*<sup>2</sup>等の構成部品に異常は認められず、同様事象の再現性もないことから、当該警報を発生させた可能性のある水位スイッチおよび補助継電器について、念のため、新品への交換を行うことといたします。

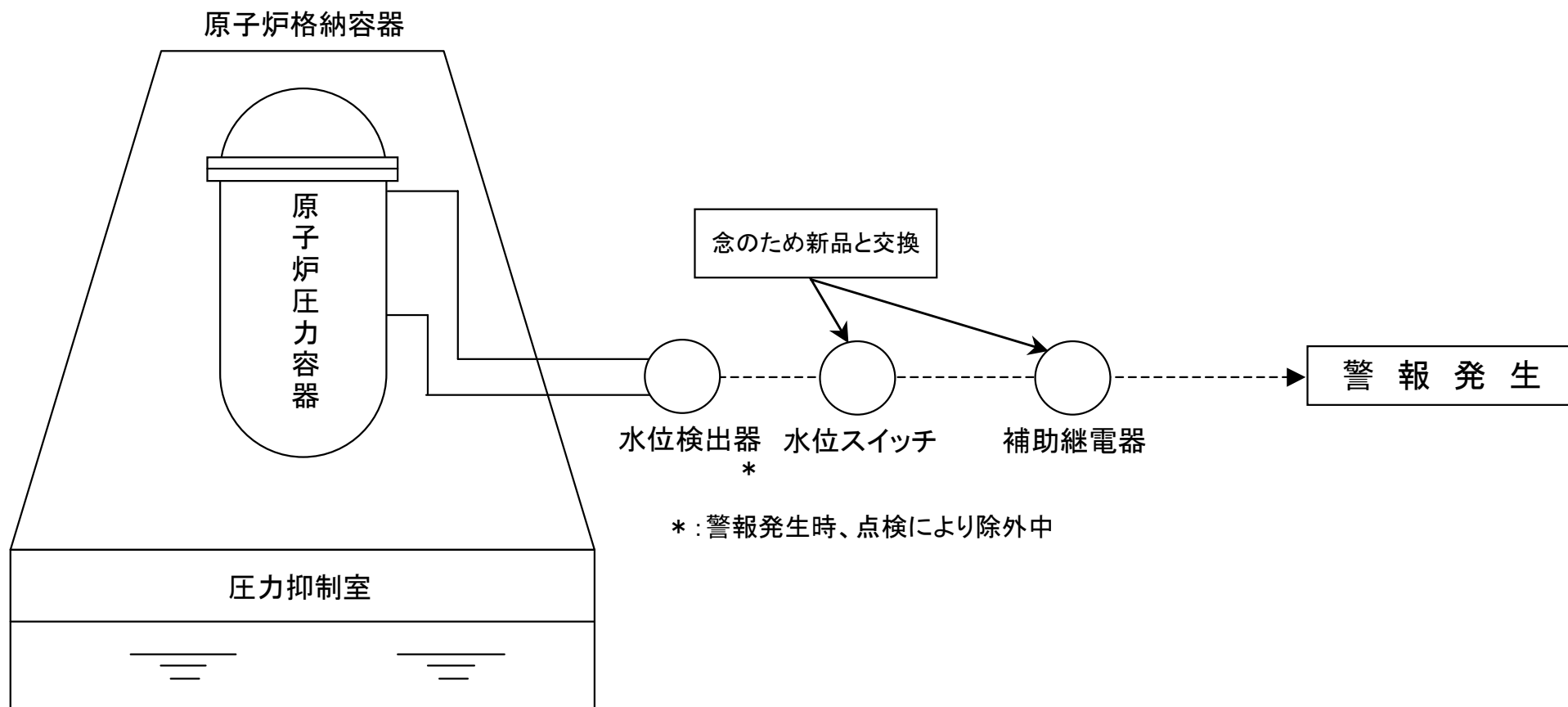
以 上

### \* 1 : 高圧炉心スプレイ系

非常用炉心冷却系の 1 つで、原子炉水位が異常に低下した場合に、原子炉内に水を補給するための系統。

### \* 2 : 補助継電器

電磁石を利用した電気回路を開閉するスイッチ。



原子炉水位(高圧炉心スプレイ系)検出概略図